

関係各位

センチュリー・システムズ株式会社
代表取締役 田中 邁

ラックマウント型 RADIUS サーバアプライアンスの 新機種 **FutureNet RA-1200** 発売のご案内

センチュリー・システムズ株式会社(本社:東京都武蔵野市、代表取締役:田中邁、以下:センチュリー・システムズ)はこの程、ラックマウント型の RADIUS サーバアプライアンス「**FutureNet RA-1200**」の新機種を発表し、12 月下旬から出荷を開始します。

FutureNet RA-1200(以降 **RA-1200** と略します)は大規模ネットワーク向けの RADIUS サーバアプライアンスです。ギガビットに対応したイーサネットインタフェースを 2 ポート備え、大規模な IP-VPN サービスの RADIUS 認証サーバとして利用できます。また、認証スイッチ、無線 LAN アクセスポイントでおこなう IEEE 802.1X 認証の **認証サーバ**としても利用できます。**プライベート CA(認証局)機能**を備えており、本製品だけで IEEE802.1X 認証に必要なデジタル証明書の発行から認証までのすべての機能が実現できます。

さらに、外部ユーザデータベースとの連携、プライマリ・セカンダリ方式や親子連携による冗長化、アカウントログ管理、ユーザの一括作成機能、わかりやすい Web 設定画面などを備え、高い機能と信頼性を求められる企業環境の認証サーバをこの 1 台で実現、運用できます。その他、弊社の VPN ルータ **FutureNet NXR** シリーズの「**Web 認証機能**」や「**IPsec 機能**」との連携にも対応しています。

RA-1200 はラックマウント型の認証サーバアプライアンスとしてご好評を得ています **FutureNet RA-1100** (2007 年 4 月に発表)の後継機で、そのすべての機能を引き継いでいます。



【写真: 認証サーバアプライアンス **FutureNet RA-1200** 】

FutureNet RA-1200 の特徴

RADIUS サーバ機能

RA-1200 の RADIUS サーバは RADIUS ポート(1645/1646 1812/1813)が標準で利用でき、任意のポートを設定することも可能です。また、標準アトリビュートに加えてベンダー独自のアトリビュート(VSA)を自由に追加できるため、NAS や RAS、認証 VLAN、SSL-VPN などの製品と連携が可能です。さらに運用面で重要になる同一ユーザ ID によるアクセス数制限機能を持ち、多重ログインを防止できます。同時ログインを許す場合はそのログイン数の制限(最大 9 まで)が可能です。同一 ID で無制限にアクセスを許可することも可能です。

様々な認証方式に対応

RA-1200 はユーザ認証の方式として RADIUS で標準的な PAP/CHAP に加え、認証スイッチのポートアクセス制御や無線 LAN のアクセスポイントで利用されている EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-PEAP、EAP-TTLS プロトコルに対応しています。これにより認証スイッチや無線 LAN アクセスポイントなど様々な経路で要求される大量のユーザ認証を集中的に処理、一括管理できます。

※ EAP (Extensible Authentication Protocol、拡張認証プロトコル)

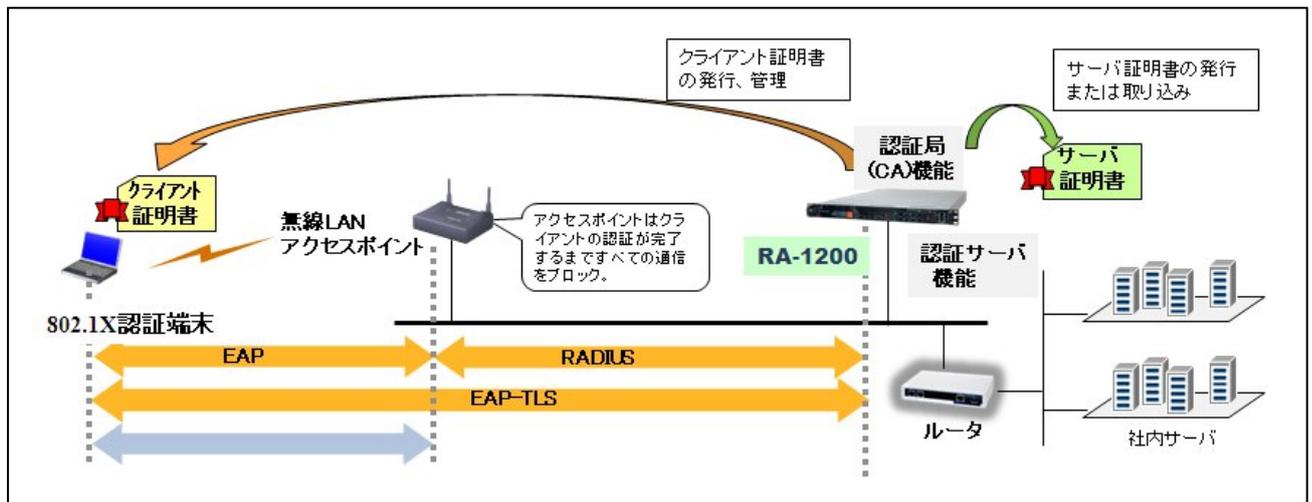


図: FutureNet RA-1200 による EAP-TLS 接続例

プライベート CA 機能による証明書の発行、管理

EAP-TLS、PEAP、TTLS を使って認証をおこなう際は認証サーバ(RA-1200)側に証明書が必要です。RA-1200 は自身が CA(認証局)としてサーバ証明書を発行できます。また、外部 CA で作成したサーバ証明書の取り込みにも対応します(予定)。さらに、クライアント証明書の発行や、失効リストの更新がおこなえます。1 ユーザにつき複数枚の証明書を発行できるため、有効期限の満了前に新しい証明書を発行できます。その他開始期日を 1 カ月後、などとした証明書を発行できるなど、運用条件にあわせた対応が可能です。

フレッツ・オフィス/フレッツ・VPN ゲートサービスへの対応

RA-1200 は、IP-VPN サービス「フレッツ・オフィス」、「フレッツ・オフィスワイド」、「フレッツ・VPN ゲート」(いずれも NTT 地域会社により提供されているサービス)が提供する認証機能に対応しており、IP-VPN を構築する際に拠点側ルータの認証をおこなう用途に利用できます。また、フレッツ・オフィスの「フレッツナンバーアシスト」、VPN ゲートの「回線情報転送機能」にも対応しています。

■ 多数のユーザに対応

RA-1200 は内部に 50,000 ユーザまでの情報を格納できます。ユーザ情報は”プロフィール”と呼ばれる属性の集まりを利用することにより、グループ化して効率よく管理できます。ユーザ情報はプロフィールやユーザ証明書を含めテキストファイルでの一括登録、あるいは取り出しが可能です。また、Microsoft® ActiveDirectory®や LDAP サーバで管理しているユーザデータベースとの連携も可能です。

■ 親子連携機能

RA-1200 は自身を親機、下位機種である **RA-730** を子機として親子連携が可能です。各拠点の端末は、通常子機で認証を行います。万一の故障時にはセンタの親機で認証を継続できます。親機は 1 台で複数の子機をバックアップできるため、効率的なバックアップが実現できます。また、子機は常時ログ・セッション情報を親機に送信し、親機では複数の子機の状態を管理します。そのため 1 台の親機からすべての子機の状態を確認できます。設定情報についても、親機の GUI からの操作で子機側のアカウントの追加・編集・削除が可能です。親機側はすべての子機の設定情報を管理しているため、子機の増設や子機の故障時も、迅速な対応が可能です。

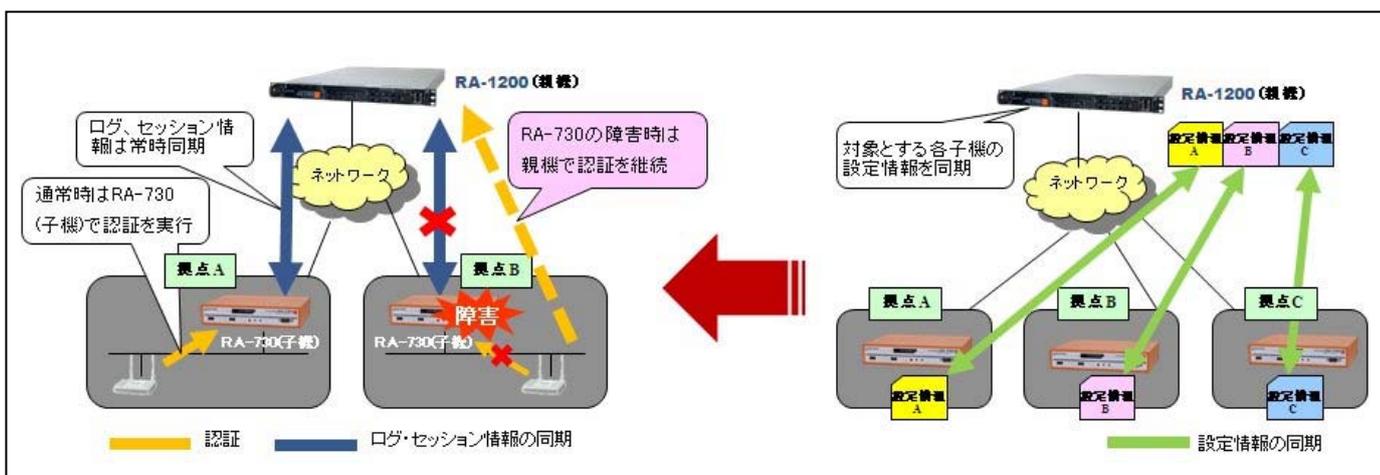


図: RA-1200 の親子連携機能による冗長化

■ 冗長構成の実現

RA-1200 は複数台による Active-Active 方式の冗長化をサポートしています。1 台の **RA-1200** (プライマリ) に障害が発生しても別の RA (セカンダリ) を利用して運用を継続できます。また各 **RA-1200** 間でログ・セッション情報を同期しているため、負荷分散目的でも使用可能です。さらにマスタースレーブ方式の設定情報の同期機能をサポートしています。いずれかの **RA-1200** をマスタとして設定すると、その設定がスレーブの **RA-1200** にも自動的に反映されます。また同期化区間は TLS により暗号化されます。

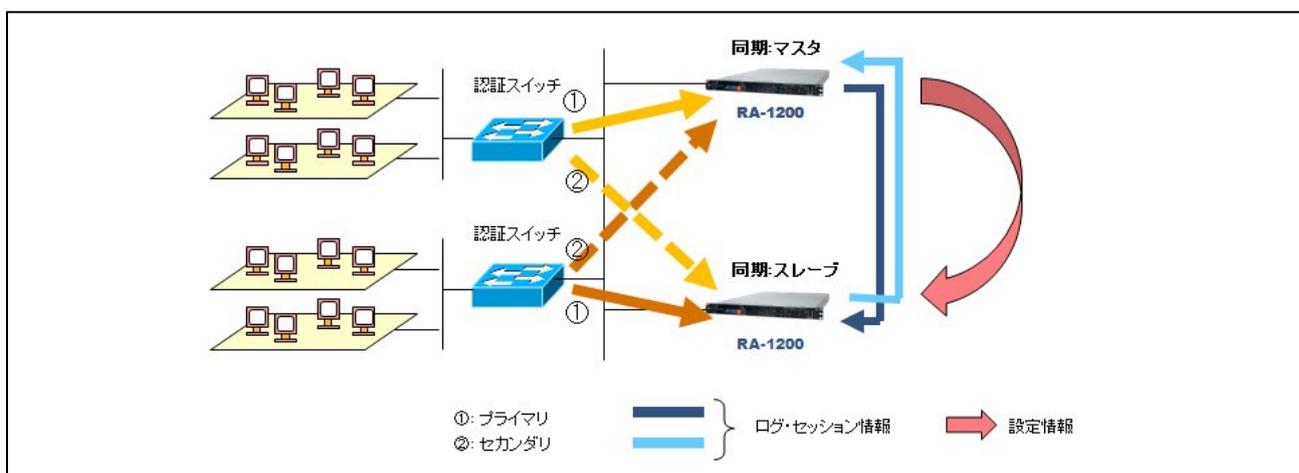


図: RA-1200 の Active-Active 方式による認証の冗長化と設定情報の同期

■ わかりやすい操作画面により導入、運用が容易

RA-1200 は Web ブラウザで提供されるウィザード機能を利用すると、ナビゲーションにしたがって項目を選択するだけで最低限必要な設定を簡単におこなえます。また、全ての機能の設定は Web ブラウザを用いた GUI 画面から設定できます。機能追加時などファームウェアの更新も Web ブラウザからおこなえます。専用のユーティリティを使わないため、管理用 PC の OS を選びません。また、GUI 画面からの本装置の設定情報の保存/復帰も可能です。

■ VPN ルータ FutureNet NXR/XR シリーズとの強力な連携

VPN ルータ、FutureNet NXR/XR シリーズは、ルータからユーザ毎に ID を発行し、その認証をおこなうことで通信の可否を制御できる『Web 認証機能』を備えています。**RA-1200** は、ユーザが Web 認証を利用する際に VPN ルータに代わって認証要求に応えることができます。これにより、多数のユーザを抱えるインターネットマンションや IP-VPN などのブロードバンド環境で、**認証情報の一元管理**が可能になります。

例えば全国の支店を移動する社員の場合、社員はブラウザを起動して Web 認証を通れば、どこからサーバやインターネットへアクセスしても、常に同じセキュリティポリシーが適用されます。このとき、特別なソフトウェアは必要ありません。同様に自宅から VPN を利用して社内ネットワークにアクセスするユーザ向けにも有効なソリューションとなります。

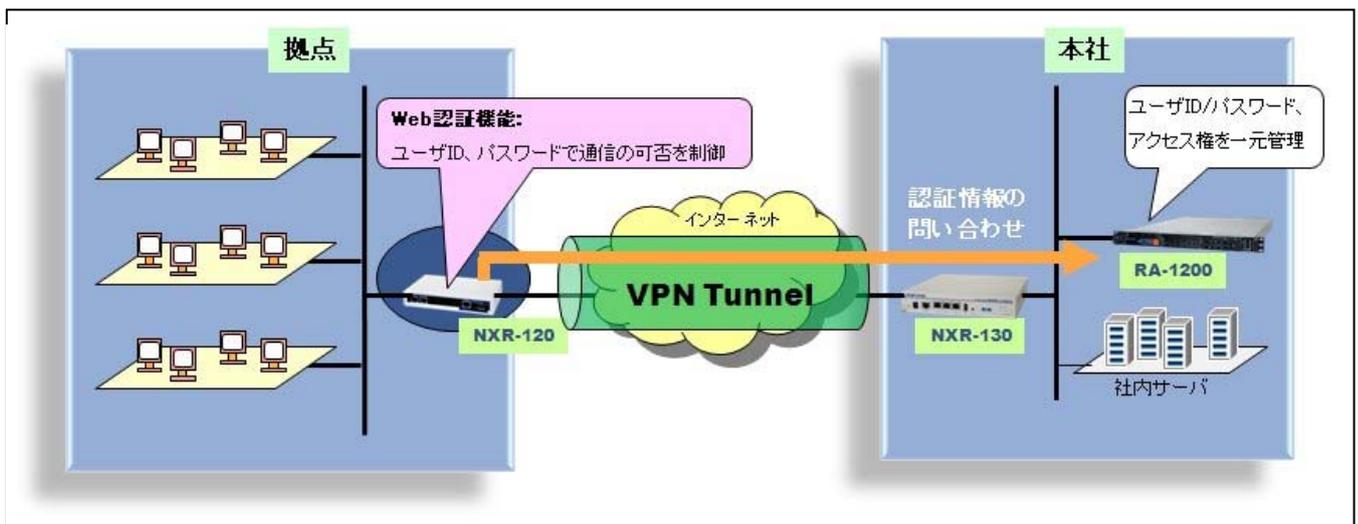


図 : FutureNet NXR シリーズ「Web 認証機能」と RA-1200 のソリューション

また、**RA-1200** のプライベート CA 機能を利用して、FutureNet NXR, XR シリーズで X.509 証明書を使った IPsec 接続をおこなう際に利用する証明書を発行することができます。

■ 強力な運用サポート機能

RADIUS サーバとしてのすべての機能を設定できる**本装置管理者**とユーザ情報だけを変更できる**ユーザ管理者**、自分のパスワードの変更や自分用に発行された証明書の取得だけができる**ユーザ**を分けて管理できるため、スムーズな運用が可能です。認証のログやアカウントログはユーザの属性や名前などで並べ替え、抽出、閲覧することができます。また、これらのログはブラウザ上で表示するだけでなく、SYSLOG で別のホストに送信することもできます。異常時には SYSLOG や SNMP のトラップを使って警報を通知することもできます。さらに、到達性確認機能やパケットキャプチャ機能(Ethereal/Wireshark 形式で取得・保存可能)によるネットワークの診断も可能で、万一の不具合のときも原因の究明が容易です。

また、本体ハードウェアの電源ユニットは 2 台構成で冗長化されており、片側が故障してももう片方で運用を継続できます。

/// 価格、販売等 ///

FutureNet RA-1200

定価： 1,995,000 円(本体価格 1,900,000 円、 消費税 95,000 円)

出荷開始:2011 年 12 月下旬

ご購入については弊社代理店様にお問い合わせください。

「FutureNet」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。

製品名		FutureNet RA-1200
通信インターフェース		Gigabit Ethernet (Auto MDI/MDI-X) × 2
IP ルーティング方式		スタティック
RADIUS サーバ機能	ポート番号	1645/1646、1812/1813 1645/1646 と 1812/1813 同時利用可能 認証用ポート、アカウント用ポートの任意設定も可能
	認証方式	PAP/CHAP、EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-PEAP、 EAP-TTLS
	最大登録クライアント	1,000
	最大登録ユーザ	50,000
	VSA	○
	アトリビュート追加	○
プライベート CA 機能	Active Directory との連携	○
	LDAP との連携	○
	クライアント証明書発行	PEM/DER 形式、PKCS#12
	サーバ証明書発行	
	証明書数	10,000
	鍵長	512, 1024, 2048 から選択
	X.509 対応	V3 拡張 Key Usage 選択、V3 拡張 Extended Key Usage 選択
失効理由選択	○	
パケットフィルタ		20 エントリを設定可能 制御方法: プロトコルタイプ、ポート番号、IP アドレス の組合せによるフィルタリング機能
多重ログイン制限機能		対応(1~9 の同時接続数制限が可能)
冗長化機能		Active-Active 方式の認証二重化 プライマリ-セカンダリ方式の設定情報の同期 RA-1200/RA-730 間の親子連携 ※親機側機能を搭載
本体設定		Web ブラウザからの GUI 設定 基本設定ウィザード(Web 設定画面内)
ユーザ管理		ファイルによるユーザ情報の一括登録/取り出し、 GUI からのユーザ登録、削除、ユーザのグループ化による管理、 一時的な認証許可/不許可の制御
運用管理機能		装置管理者、ユーザ管理者、ユーザの 3 レベルの管理権限、 認証ログ、アカウントログ、システムログの閲覧、 並べ替え表示、ログ情報の SYSLOG、ファイルへの出力、 SNMP、SNMP Trap 対応、 NTP クライアント機能、ファームウェアの更新
ネットワーク診断ツール		パケットキャプチャ機能、到達性確認機能、 ルート確認機能、名前解決確認機能
内蔵ストレージ		HDD 1TB × 2 ※ RAID 1 構成
外形寸法		437mm(幅) × 503mm(奥) × 43mm(高さ) 突起物を除く ※ 19 インチラックマウント・1U サイズ
重量(ケーブル等除く)		本体重量 約 11kg(梱包重量約 17kg)
電源		400W 電源ユニット 1+1 冗長 AC 100V ~ 240V
消費電力		約 150W(最大)、発熱量 約 540kJ(129.6kcal/h)
動作環境条件		温度: 10°C ~ 35°C, 相対湿度: 8% ~ 90% (結露なきこと)
認定/準拠		VCCI-Class A 準拠、RoHS 指令対応
添付品		電源コード、19 インチラック取り付け金具、保証書

※ 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズ株式会社は、1985 年創立の情報通信分野のベンチャー企業です。ハードウェアとソフトウェアの両面からシステムを構築する、システムハウスとして通信システムのファームウェア受託開発に加え、これまでに培ってきた通信プロトコル・ソフトおよびハードウェア技術をインテグレートして自社製品『FutureNet®(フューチャーネット)シリーズ』を開発しています。

* センチュリー・システムズの特徴

- TCP/IP をはじめとし通信プロトコルの多くを自社開発し、豊富なプロトコル・ライブラリを取り揃え、他のシステムへの移植も迅速かつ柔軟に対応できる開発体制を持っています。

センチュリー・システムズの通信プロトコル開発実績	
上位層(5~7)	LPR、FTP、TELNET、HTTP、SMTP、POP、MIME、DNS、DHCP、BOOTP、RIP-1/2、SNMP、SSL、SAP、FL-net、BACnet
トランスポート層	TCP、UDP、SPX
ネットワーク層	IP(パケット優先制御付き)、ARP、RARP、ICMP、IPX、ISDN(Q.931)、Ipssec、Ipv6
データリンク層	PPP、PPPoE、IPCP、IPXCP、HDLC、ISDN(Q.921)、FrameRelay
物理層 (ドライバを含む)	100M/10M Ethernet、SONET(SDH)OC-3/12/48、ATM メガリンク/シェアリンク、トークンリング、T1、ISDN(I.430)、無線(802.11)、SCSI、IEEE1394、USB、GPIB、PCMCIA、NDIS、RS-232、RS-422、RS-485、セントロ、LONWORKS

- FPGA や ASIC のためのハードウェアライブラリも充実し、ニーズに合った回路基板を短期間で実現できます。
- Linux を組込み用に応用して小型サーバやルータ等に利用しています。また、工業用の組込みシステムのベースとして Linux を利用できるノウハウを備えています。さらに Linux だけではなく iTRON 準拠の OS をベースに製品化も可能です。
- このようなハード/ソフト技術を活かし各分野においてシステムのネットワーク化に貢献しています。
- またこれらのノウハウを応用した自社製品 FutureNet®シリーズを展開しています。

* 開発事例

- マイクロジェネレータ(小型発電機)設備などの遠隔監視システムの開発と OEM 供給
- Web サーバ/ルータ/スイッチの遠隔管理システムの開発と販売
- ITS(高度道路交通システム)用ネットワークボードの開発と OEM 供給
- 自動車用工作機器メーカーの生産ロボット用ネットワークボードの開発と供給
- 各種プリンタのネットワークボード、プリンタ制御ソフトウェアの OEM 供給

* 自社製品 - FutureNet®シリーズラインナップ -

- FutureNet XR シリーズ : VPN ルータ
- FutureNet NXR-120/C, NXR-125/CX, NXR-155/C-WM, NXR-155/C-XW, NXR-130/C, NXR-1200 : VPN ルータ
- FutureNet CMS-1200 : リモート管理専用アプライアンスサーバ
- FutureNet RA-630, RA-730, RA-1100 : RADIUS 認証サーバ
- FutureNet FA-110, FA-120 : 超小型 RS-232/イーサネット変換機
- FutureNet MA-800, MA-810, MA-820, MA-E210, MA-E210/AD-72, MA-E120 : Linux マイクロアプライアンスサーバ
- FutureNet MA-450/XW, MR-250/F, MA-E250/F : 通信モジュール内蔵小型 Linux サーバ
- FutureNet AS-110, AS-150/X-II : アナログモデム/TA、CDMA 1X 対応アクセスルータ
- FutureNet DS-140/C : RAID ユニッツを搭載したネットワークカメラ録画アプライアンス
- FutureNet FL-PCI/V2-100 : FA 業界標準通信プロトコル「FL-net」に対応した高性能 PCI ボード
- FutureNet NS-430 : 不正端末のネットワーク接続監視装置

● お問い合わせ先

FutureNet RA-1200 に関するご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。また、弊社ホームページも開設しておりますので合わせてご覧いただければ幸いです。

電話 0422-37-8911

FAX 0422-55-3373

電子メール press-release@centurysys.co.jp

ホームページ <http://www.centurysys.co.jp/>

以上、簡単ではございますが新製品の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。